

委員会報告書

委員会名	平成 29 年度 第 5 回 生産技術委員会
開催日時	平成 29 年 12 月 8 日（金） 14:30～17:30
開催場所	京都大学 桂キャンパス C1 棟 152 会議室
出席者 （敬称略）	安楽委員長、倉本副委員長、田中、森口（山本委員代理）、墓目、住廣、林田、村井、大内、根本、村田、脇園（運営幹事） 以上 26 名中 12 名
議事	<p>1. 委員交代</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なし <p>2. 幹事会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 29 年度秋季講演会は約 129 名の参加者を迎え、前年度（76 名）を大幅に上回る結果であった。 ・ 会誌のデジタル化に伴い、寄贈先（31 機関）のうち国立国会図書館及び資源エネルギー庁は簡易印刷にて寄贈を継続し、その他の寄贈先については寄贈が継続できないことを通知し、有料での簡易印刷版の購入希望につき確認する。また、販売先（23 機関）については、従来の会誌の販売が継続できないこと（契約期間が第 83 巻まで続いている販売先は返金等の交渉を行う）を通知し、有料での簡易印刷版の購入希望につき確認する。 ・ 石油技術協会賞選考規程につき、推薦者に各技術委員会を加える意見が挙げたが、意図していない圧力が生じる可能性があるとして理事会で反対意見が出された結果、削除された。 <p>3. 理事会報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石鉱連との共同作業である埋蔵量評価作業で、読み合わせをしていただく人として生産 1 人、探鉱 1 人を各技術委員会から選んでいただきたいとの依頼があり、生産技術委員会は了解している。 <p>4. 平成 30 年度春季講演会シンポジウムについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き講演題材の調査をおこなったところ、18 件（同一講演者による複数の発表内容案等も含む）の題材案が提出された。 ※本委員会にてアブダビ石油(株)より追加で 1 件の題材案が提案された。 ・ 「IOR/EOR」、「人工採油・坑井刺激」の 2 つのキーワードで題材案がある程度集まりそうではあるが、この 2 点でテーマをどのようにまとめるか検討が必要である。 ・ 次回の委員会ではシンポジウムのキーワード・テーマを正式に決定する必要がある。したがって、事前にテーマの方向性（構成案、テーマ案）を各生産技術委員に調査する。議論では、方針案として以下のような意見が挙げた。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 「IOR/EOR」および「人工採油・坑井刺激」の 2 つをまとめたテーマにする。（現在の技術～これからの技術、等） ✓ 前半・後半の 2 部制にして、テーマを分ける。 ✓ 1 つのキーワードに絞る。※講演数が足りないため追加で調査が必要。

	<p>5. 次回以降の委員会開催場所について</p> <ul style="list-style-type: none">・ 第6回：1月11日（木） 15:30～ アブダビ石油（株）・ 第7回：3月1日（木） 15:30～ 石油資源開発（株） <p>6. 話題提供</p> <ul style="list-style-type: none">・ 大学からの研究紹介2件・ 生産技術委員会による活動紹介<ul style="list-style-type: none">✓ 「我が国の石油・天然ガス開発業界の活動紹介」 安楽委員長、生産技術委員9件 <p style="text-align: right;">以上</p>
--	---